

## 2017年度の事業報告

### 事業の概要

#### 1. 社会福祉事業

<1>自動車購入費助成（予算：10,000,000円）

2017年度は、助成する福祉団体の募集対象を東日本地区として、6月から7月にかけて公募したところ、77件の応募があり、2017年9月14日開催の選考委員会で、10団体に対し合計984万円の助成を決定しました。

#### 「自動車購入費助成」 助成先一覧

所在地	団体名	主な事業 ※事業の一部を紹介	助成 金額 (万円)
北海道	特定非営利活動法人 青眼	就労に向けての技術習得、資格習得やPCなどの学習指導、自立支援活動	100
青森	特定非営利活動法人 笑楽生	自宅、学校、デイサービスへの送迎、共生社会の現実に向けた地域生活支援事業	100
宮城	特定非営利活動法人 セミナーレ	障害児の学童保育、障害児（者）の日中一時支援、夜間を含めた短期入所	100
福島	NPO法人 コーヒータム	福島県浪江町の精神障害者作業所を、震災後二本松で再開し、カフェと作業所を運営	100
群馬	特定非営利活動法人 群馬リカバリーねっと	精神障害者・発達障害者の就労支援と啓蒙活動	100
東京	特定非営利活動法人 かいとー	ワイシャツクリーニング作業、他に自主生産品の作成・販売など就労を通じた就労支援	100
長野	特定非営利活動法人 介護屋 つむぎ	御岳山噴火後に木曾地域で始めた、障害者の介護事業、重度障害児の地域生活支援	100
愛知	特定非営利活動法人 夢ひろば	障害者とその家族が地域の中で生きていくための生活、および相談などの支援事業	100
愛知	特定非営利活動法人 アジャスト	発達障害や、その可能性のある子どもとその家庭への家庭訪問型支援	84
三重	特定非営利活動法人 共同受注窓口みえ	障害者就労施設の商品営業や販売支援を通じ、施設利用者の工賃・賃金の底上を支援	100

<2>NPO基盤強化資金助成（予算：22,000,000円）

2017年度は、9月から10月にかけて、『「組織の強化」と「事業活動の強化」の助成』は西日本地区を対象に、『「認定NPO法人取得資金」の助成』ならびに、財団設立40周年記念事業である「住民参加型福祉活動資金助成」は全国で募集しました。

それぞれの応募数は、『「組織の強化」と「事業活動の強化」の助成』は89件、『「認定NPO法人取得資金」の助成』は47件、そして「住民参加型福祉活動資金助成」には163件、合計299件でした。

2017年12月12日開催の選考委員会で、以下のとおり、『「組織の強化」と「事業活動の強化」の助成』は21団体、『「認定NPO法人取得資金」の助成』は20団体、そして「住民参加型福祉活動資金助成」は20団体、計61団体に対し合計約2,162万円の助成を決定しました。

なお、主に子ども（障害児など）を対象として活動を行っている17団体（下表団体名に★）への助成金には、損害保険ジャパン日本興亜グループの社員の毎月の給与から集められる「ちきゅうくらぶ社会貢献ファンド」からの寄付金400万円を活用させていただきました。

### NPO基盤強化資金 助成先一覧

#### 『「組織の強化」と「事業活動の強化」の助成』 助成先一覧

所在地	団体名	助成する事業の概要	助成金額 (万円)
京都	特定非営利活動法人 京都 DARC	農作業による就労支援から生まれる地域との共生	50
大阪	特定非営利活動法人 Homedoor	認定 NPO 法人として適切な寄付者対応を行うための地盤強化事業	50
大阪	特定非営利活動法人 こえとことばとこころの部屋	釜ヶ崎芸術大学・大学院アーツマネジメントプロフェッショナル事業	50
大阪	特定非営利活動法人 ほのぼのステーション	「地域の介護交流ひろば」をつくる	50
大阪	特定非営利活動法人 メリーミーズ ★	児童養護施設出身の子ども達のサポーターを増やす事業	35
大阪	特定非営利活動法人 ライフサポート 大阪	袋物キッド作成と同ネット販売への展開事業	50
千葉	特定非営利活動法人 日本病院ボランティア協会	つながろう病院ボランティア ひろげよう病院ボランティア	46
兵庫	特定非営利活動法人 ヘルパーGOGO	採用力向上を目的としたホームページの開設	50
兵庫	特定非営利活動法人 心幸	福祉有償運送車両運賃メーター整備事業(運転代行メーター購入)	30
兵庫	特定非営利活動法人 東灘地域助け合いネットワーク	情報発信をツールとした地域の連携強化事業(イベント開催)	50
岡山	特定非営利活動法人 シルバーライフサポートもも	福祉有償旅客運送事業(広報活動の強化)	50
岡山	特定非営利活動法人 志塾フリースクール岡山 ★	支援プログラムの拡大と充実、「活動支援」と「出口支援」の強化	49

所在地	団体名	助成する事業の概要	助成金額 (万円)
広島	特定非営利活動法人 アニマルセラピー協会	教本の作成・研修によるスタッフのモチベーションの維持をはかる	27
愛媛	特定非営利活動法人 えひめ心のつばさ ★	学校に行けない子ども・社会参加できない青年の社会復帰支援の広報	50
福岡	特定非営利活動法人 ISC 糸島スポーツクラブ	福祉人材ネットワーク構築プロジェクト(理論講習、実践体験)	50
福岡	特定非営利活動法人 九州大学こころとそだちの相談室	不登校の児童生徒およびその保護者への臨床心理サービスの拡充	50
長崎	特定非営利活動法人 ほほえみながさき	移動支援に従事する運転者の育成と、新たな運転ボランティアの拡充	50
熊本	NPO 法人 誠桜の樹 ★	看板設置による広報の強化とそれによる周辺の防犯対策	50
鹿児島	特定非営利活動法人 ビッグハート	工賃アップの為にシール機購入事業	45
鹿児島	特定非営利活動法人 ともいき	研修等における視覚的機材の購入	50
沖縄	特定非営利活動法人 沖縄県自立生活センター・イルカ	インクルーシブ教育モデル事業推進に向けた障害のある事務局員配置	50

『「認定NPO法人取得資金」の助成』 助成先一覧 ※以下20団体に各30万円を助成しました。

所在地	団体名	団体の主な活動内容(認定取得の目的)
北海道	特定非営利活動法人 子どもと文化のひろば ふれいおん・とがち ★	あそびや文化体験を通じての地域文化環境づくり、子育て支援
岩手	特定非営利活動法人 盛岡ユースセンター ★	不登校の子どもたちが教育を受けられるようなサポートと環境づくり
岩手	特定非営利活動法人 キツキネットワーク岩手	健康寿命を延ばすために、知徳体食美を学ぶ講演会、カフェ等を開催
宮城	特定非営利活動法人 STORIA ★	貧困の子どもたちに居場所を提供し、子どもと家庭へ包括的な支援
東京	特定非営利活動法人 人身取引被害者サポートセンター ライトハウス	人身取引、女性や子どもへの暴力をなくすための相談支援、予防・啓発
東京	特定非営利活動法人 全国脊髄小脳変性症・多系統萎縮症 友の会	患者、家族に対して交流の場を提供し、認識を深め医療の増進をはかる
東京	特定非営利活動法人 ReBit	LGBT問題の教育と相談支援、居場所づくり
東京	特定非営利活動法人 しんぐるまざあずふおーらむ	シングルマザーが子どもと生きるための就労、子育て支援
東京	特定非営利活動法人 八王子つばめ塾 ★	経済的な困難を抱える家庭の子どもの学習支援、教育相談
東京	特定非営利活動法人 両全トウネサーレ	精神障害者に対する自立支援・障害者福祉に関する研究調査
新潟	特定非営利活動法人 UNE	高齢者の農園芸作業などを通じての自立支援、居場所づくり
静岡	特定非営利活動法人 静岡市障害者協会	障害者の権利擁護、生活支援、福祉啓発、障害者団体の活動支援
愛知	特定非営利活動法人 ひょうたんカフェ	織り、豆腐、おからドーナツ等のものづくりで障害者と社会をつなぐ
京都	特定非営利活動法人 よのなか塾 ★	生活困窮家庭、ひとり親家庭、不登校の子どもたちへの学習支援
大阪	NPO法人 CPAO ★	子どもたちの「まずは、ごはん！」を中心に、子育てを支援
大阪	特定非営利活動法人 あわじ寺子屋 ★	子どもの貧困と虐待の連鎖を解決するための居場所提供と学習支援
大阪	特定非営利活動法人 児童虐待防止協会 ★	子どもへの虐待防止のための電話相談、地域支援、グループケア
兵庫	特定非営利活動法人 こむの事業所	障害者の就労支援に取り組み、困難を抱える人たちの働く場をつくる
山口	特定非営利活動法人 まなびデザインラボ ★	不登校生徒に教育を提供するフリースクールを開校
鹿児島	特定非営利活動法人 フードバンクかごしま	フードバンク活動を通じて食品ロス削減の啓発や災害支援を行う

「住民参加型福祉活動資金助成」 助成先一覧

所在地	団体名	助成する事業の概要	助成金額 (万円)
北海道	特定非営利活動法人 陽だまりの家	陽だまりお助け隊(働いていない若者の社会参加活動)	30
岩手	Home of Wisdom ★	手芸・クラフトをツールとした住民主体の被災地 コミュニティ再生	30
埼玉	特定非営利活動法人 ユーアイネット柏原	住民が希望と自信と誇りを持って、安心して暮らせる まちづくり事業	30
東京	りぷりんとフレンズ・いたばし	講演会「絵本をめぐる今を語る」の実施、および 大型絵本の購入	30
東京	特定非営利活動法人 介護サポーターズ国分寺	有償ボランティア活動「くらしネット」	30
東京	特定非営利活動法人 ハーフタイム ★	葛飾区立石地区における生きづらさを抱えた子どもの 居場所づくり	30
東京	特定非営利活動法人 狛江子ども食堂 ★	子ども食堂	30
山梨	一宮町生活支援ボランティアの会	生活支援活動	30
岐阜	特定非営利活動法人 阿木ふるさと福祉村	地域のコミュニティ場の整備と高齢者の見守り配食の 備品購入	30
静岡	遊水匠の会	高齢者居場所街角サロン 新規出店2号店 たまりば・一休	30
滋賀	ボランティアグループ きずな	認知症予防と多世代交流活動	10
滋賀	西黒田きんたろうサポート会	不便を感じている日常生活における課題を解決する (買い物ツアー)	30
兵庫	房王寺さくら会家事生活支援	家事生活支援、生きがい教室、配食サービスおよび フリーマーケット	30
兵庫	ボランティアはなぞの 西明石サポーターズファミリー	障害者・高齢者・要支援者・子ども・認知記憶症候群の コミュニケーション	30
島根	ひえばらお助けマン互助会	ひえばらお助けマン互助会体制整備	30
岡山	みどりヶ丘イキイキグループ	みどりヶ丘イキイキ拠点推進活動	30
広島	にこにこ 日来ら始	Tiny Dining ～小さな厨(くりや)～	30
広島	三庄のおうち ★	地域で子育て、育てあい、育ちあい事業 「三庄のおうち」	30
熊本	NPO法人 対話する市民後見くまもとカタルパ	老人会などの小規模団体に勉強会をし、市民後見人の 実現を目指す	30
宮崎	都城・三股農福連携協議会	地域で育む、地域の世代間交流スペースの創出	30

<3>海外助成（予算：4,000,000円）

海外の社会福祉の向上を目的に「海外助成」を実施しました。

2017年度は、募集対象国をASEAN加盟国ならびにインドとし、募集対象国に本部あるいは活動の主要な拠点事務所を置き、社会福祉分野で活動する非営利団体を対象に9月から11月にかけて公募したところ、募集対象国に在住する日本企業の現地駐在員の推薦による10件の応募がありました。

2017年12月12日開催の選考委員会で、以下の6団体に対し合計約480万円の助成を決定しました。

「海外助成」助成先一覧

国	団体名	助成金の使途	助成金額
インドネシア	Lembaga Keswadayaan Masyarakat Panca Karya (LKM パンチャ カルヤ)	農産物生産における加工技術トレーニングや、観光事業における技術トレーニングなどを実施する多目的訓練所を建設する。	(約 83 万円) 100,000,000 IDR
マレーシア	Kiwanis Down Syndrome Foundation	就学前のダウン症幼児施設での屋外庭園の整備を通じ、自然とふれあい活動する場の提供をする。	(約 83 万円) 30,000 MYR
マレーシア	Yayasan Generasi Gemilang	貧困の連鎖を生み出さないよう、貧困家庭の児童に教育・食事・制服等の提供をする。	(約 83 万円) 30,000 MYR
ミャンマー	Disabled People's Development Organization (DPDO)	障害者の日常生活を補助する補装具の購入や、その他日常生活支援および情報提供など社会参加に対する支援を行う。	(約 68 万円) 8,210,000 MMK
フィリピン	Gawad Kalinga Community Development Foundation, Inc.	貧困層の自立化を目指し、ストリートキッズや紛争地域、公立学校の子どもたちに対して栄養価の高い昼食などを食料支援する。	(約 86 万円) 382,500 PHP
シンガポール	Muscular Dystrophy Association (Singapore) (MDAS)	筋ジストロフィー患者向けに毎日の学校通学と定期的な病院での検診が受けられるよう、特殊車両の手配を支援する。	(約 84 万円) 10,000 SGD

<4> 「会議会合・国際交流費等助成」・「地域災害等緊急対策助成」

(予算：合算で3,500,000円)

(1) 会議会合・国際交流費等助成

2017年度は、以下のとおり、2団体130万円の助成を実施しました。

	助成先団体名	助成する事業名	助成金額 (万円)
①	日本障害フォーラム(JDF) 代表 阿部一彦	障害者権利条約の批准後の集中啓発活動に係るシンポジウム、セミナー等の開催	100
②	NPO法人会計基準協議会 代表 早瀬 昇	NPO会計基準の普及啓発活動	30

詳細は以下のとおりです。

①日本障害フォーラム(JDF)

障害者権利条約の実施に向けては、「地域フォーラム」を開催して国連への対応や国内制度の改善について幅広い関係者と共有するとともに、東京において「全国フォーラム」を開催します。また、本年度は、民間としての「パラレルレポート」作成のための準備会をJDFに設置し、課題抽出の作業を開始するとともに、障害者権利委員会(スイス)に派遣団を送り、日本の審議における効果的なロビイングにつなげていきます。一連の活動を通じて、障害者権利条約の実施を推進し、権利条約が求める社会の実現を目指します。

これらの活動を支援するものとして、1団体100万円の助成を2017年9月14日の選考委員会で決定しました。

2018年1月20日に「JDF全国フォーラム」が東京で開催されました。

②NPO法人会計基準協議会(日本NPOセンター内)

NPO全体の信頼性を高める上で、会計レベルの向上は大きな課題となっています。そのため、NPO法人会計基準協議会では、2017年12月のNPO法人会計基準の一部改定も踏まえ、全国のNPOの会計レベル向上のためのキャンペーンを実施します。具体的には、「協議会ウェブサイトの改訂」「会計実務に関する手引書の作成」「全国での普及キャンペーンの20回開催」「全国NPO支援センターでの会計支援体制の強化(会計サポーターの養成とNPO会計実務研修の普及)」などの事業を通じて、NPO法人会計基準の普及率向上(2015年度20%→40%)を目指します。

これらの活動を支援するものとして、1団体30万円の助成を2017年12月12日の選考委員会で決定しました。

(2) 地域災害等緊急対策助成

2017年度は、「地域災害等緊急対策助成」はありません。

<5>在宅で高齢者を介護する家族の交流・研修資金助成（予算：7,800,000円）

(1) 交流会資金助成（予算：4,800,000円）

2017年度は、公益社団法人認知症の人と家族の会の25支部780名（認知症高齢者、医師・福祉関係者等を含む）に合計480万円の助成を実施することを2017年3月23日の選考委員会で決定しました。

(2) 研修会資金助成（予算：3,000,000円）

2016年度から開始した事業で、在宅で高齢者を介護する家族等を対象とした研修会等に関わる開催費用を助成するものです。2017年度は全国の介護家族の会および介護家族等を支援する団体を対象に5月から6月にかけて公募したところ37件の応募があり、2017年9月14日開催の選考委員会で、23団体に対し合計約283万円の助成を決定しました。

### 「研修会資金助成」助成先一覧

所在地	団体名	研修会等の名称、内容	助成金額 (万円)
青森	公益社団法人 認知症の人と家族の会 青森県支部	研修会・シンポジウム 「世界アルツハイマーデー記念講演会 in つがる市」	15
秋田	公益社団法人 認知症の人と家族の会 秋田県支部	家族介護者の現状と課題を考える研修会 ～現役男性介護者をお迎えして～	15
栃木	宇都宮介護者の会	研修会「病気になったらどんな支援があるの？ ～退院後の支援の流れを知り、家族の不安を取り除く 勉強をしませんか～」	13
埼玉	上を向いて歩こう会 (パーキンソン病家族の会)	研修会等(4回実施) ①上を向いて歩こう体操 ②介護保険サービス勉強会 ③介護負担との向き合い方講座 ④パーキンソンアート体験会	15
千葉	ケアラー支援ネットワーク協議会	シンポジウム・交流会及び集い・専門職相談ブースの 複合的フェア「包括的なケアで助け合い・支え合う街に」	15
東京	若年認知症家族会 彩星の会	シンポジウム「より質の高い「在宅介護」をめざして (副題「辛」から「幸」へむけて)」	15
東京	公益社団法人 認知症の人と家族の会 東京都支部	勉強会 「在宅介護のための手だてを知ろう」	15
石川	白山市認知症の人と家族の会 (家族の会 レインボー)	人形を使った認知症講座「人形が語る認知症の世界」 -認知症の方と家族がいつまでも自分らしく暮らしていく ために-	9
福井	公益社団法人 認知症の人と家族の会 福井県支部	研修会「家族支援プログラム(6回コース)」	9
長野	千曲地区認知症の人と家族の会	市民講座「認知症についての正しい理解を進める」など	8
静岡	伊東市介護家族会	〈みとりと音楽療法〉セミナー＆ワークショップ 『死に逝く人は何を思うか』	15
静岡	家族の会 共生	研修会「地域で認知症の人を支えるためには」	15
愛知	特定非営利活動法人 つづら	シンポジウム「介護の未来はどうなるの？パート2 ～日本一若い町で考えるこれからの暮らし～」	15



所在地	団体名	研修会等の名称、内容	助成金額 (万円)
愛知	ぼちぼちの会(認知症と家族の会)	研修会「認知症の病気と介護について学ぼう」	4
三重	公益社団法人 認知症の人と家族の会 三重県支部	研修会等「家族介護教室 ～笑顔で介護 笑顔の暮らし コツはなに?～」	8
大阪	大東市介護者家族の会 「サルビアの会」	勉強会「在宅医療・介護との連携について」	9
大阪	認知症を理解し地域で支える会	「認知症の人とともに」認知症の人本人の思いや認知症への理解を深めるシンポジウム	6
兵庫	特定非営利活動法人 愛逢	第12回 生と死を考える市民講座「あなたはどこで死にたいですか?」～住み慣れた“まち”で生きて逝く～	14
奈良	生駒市介護者(家族)の会	研修会等「介護を語り合う集い ～介護は突然やってくる その時あなたは?～」	15
和歌山	公益社団法人 認知症の人と家族の会 和歌山県支部	講演会「世界アルツハイマーデー記念講演会 2017」	8
山口	光市認知症を支える会	シンポジウム「地域でみんなで認知症を見守る」	15
福岡	NPO 法人 老いを支える北九州家族の会	認知症初期における対応研修会	15
沖縄	介護生活を考える「あだんの会 糸満」	地域支え合い活動シンポジウム(介護生活を考える 「あだんの会 糸満」創立 20 周年記念事業)	15

<6>介護福祉士養成のための奨学金の給付(予算:7,200,000円)

2017年度は、4月に2年制専修学校のうち指定校25校に対し学生の推薦を依頼した結果、20名の推薦を受けました。

2017年5月17日開催の選考委員会で選考を行い1年生10名の採用を決定しました。昨年度採用の2年生10名を含め20名に奨学金(1ヶ月3万円)総額720万円を支給しました。2018年2月末現在在籍の奨学生は下表のとおりです。

奨学生一覧

	氏名	専修学校	都道府県
1年生	A(女性)	福山福祉専門学校	広島県
	B(男性)	松本医療福祉専門学校	長野県
	D(女性)	田原市立田原福祉専門学校	愛知県
	C(女性)	せいとく介護こども福祉専門学校	北海道
	D(女性)	仙台医療福祉専門学校	宮城県
	E(女性)	栃木介護福祉士専門学校	栃木県
	G(女性)	大泉保育福祉専門学校	群馬県
	H(女性)	i キャリア医療福祉専門学校	福島県

	氏名	専修学校	都道府県
	I(女性)	北陸福祉・保育専門学校	新潟県
	J(女性)	宮崎医療管理専門学校	宮崎県
2年生	K(女性)	東奥保育・福祉専門学院	青森県
	L(女性)	仙台医療福祉専門学校	宮城県
	M(男性)	東北医療福祉専門学校	福島県
	O(女性)	リリーこども&スポーツ専門学校	茨城県
	P(女性)	栃木介護福祉士専門学校	栃木県
	Q(女性)	松山学園松山福祉専門学校	千葉県
	R(女性)	南海福祉専門学校	大阪府
	S(女性)	旭川荘厚生専門学院	岡山県
	T(女性)	福山福祉専門学校	広島県
	U(男性)	熊本Y M C A学院	熊本県

## 2. 福祉諸科学事業

### <1>研究助成

(1) 一般(予算:2,000,000円)

2017年度は、「研究助成」はありません。

(2) ジェロントロジー研究助成(予算:4,000,000円)

2017年度は、2016年度に選考された16案件に対し、後期の助成金を支給しました。

### <2>研究会

以下の3つの研究会を運営しました。

(1) 保険業法に関する研究会

主査：山下友信(同志社大学教授)

損害保険ジャパン日本興亜株式会社法務部と連携し、「保険業法」にかかるテーマで4回開催し、研究を進めています。

#### 【テーマ】

第1回研究会(通算第52回)

(2017年6月16日) 「保険業法283条責任(その1)－検討課題－」

第2回研究会(通算第53回)

(2017年7月21日) 「保険業該当性」

第3回研究会(通算第54回)

(2017年10月13日) 「保険業法283条責任(その2)－ドイツ法－」

第4回研究会(通算第55回)

(2018年2月22日) 「特別利益の提供」

## (2) 福祉マネジメント研究会

主査：大橋謙策（公益財団法人テクノエイド協会理事長）

損保ジャパン日本興亜総合研究所(株)と連携して、社会福祉分野における社会起業家の人材育成に必要な「ケーススタディ教材」「印刷教材」および「講師用指導資料」などの作成を目的に研究会を4回開催しました。なお、2017年度は、社会福祉分野における社会起業家の人材育成に必要なアクティブラーニング教材となる叢書を3月に刊行しました。

- 第1回研究会（2017年5月11日）叢書刊行のに向けた作業グループ編成と  
作業・研究会開催スケジュールの検討
- 第2回研究会（2017年9月7日） 叢書項目・構成の検討
- 第3回研究会（2017年11月7日） 叢書刊行スケジュールの検討
- 第4回研究会（2018年1月15日） 叢書刊行に向けた最終原稿の検討
- 第5回研究会（2018年3月26日） 叢書の普及・活用方法や教育方法

## (3) ジェロントロジー研究会

主査：秋山弘子（東京大学高齢社会総合研究機構特任教授）

損保ジャパン日本興亜総合研究所(株)と連携して、研究会を5回開催しました。高齢者や高齢社会をめぐる諸問題を明確にし、その解決に向けての研究を通じて、豊かな長寿社会の発展に貢献することを目的としています。

なお、2015～2016年度に実施した「高齢者の働き方」等の研究について、財団叢書No. 90「世代間認識ギャップからみたシニア就労の現状と課題～ダイバーシティ雇用環境の実現に向けて～」を2017年5月に刊行しました。

2017年度は『(認知症等の) 要介護高齢者の就労とQOL』『frailな高齢者の社会とのかかわり方を考える』をテーマに5回開催し、研究を進めています。

また、2017年度から、SOMPOホールディングス(株)介護・ヘルスケア事業部認知症プロジェクト推進室にオブザーブ参加いただいています。

- 第1回研究会（2017年6月9日） 研究テーマと研究の進め方の検討
- 第2回研究会（2017年8月3日） 訪問調査の進め方の検討
- 第3回研究会（2017年9月26日） サービス付き高齢者住宅の先行調査結果の報告
- 第4回研究会（2017年11月14日） 本格調査内容の検討およびサービス付き高齢者  
住宅協会からのヒアリング
- 第5回研究会（2018年2月16日） 今後の研究の進め方の検討

## 3. 社会福祉学術文献表彰事業

### <1> 講演会・シンポジウムの開催

第18回損保ジャパン日本興亜福祉財団賞受賞記念講演会・シンポジウムを開催しました。概要は以下のとおりです。

- ・日時：2017年7月1日（土）午後1時から午後5時
- ・場所：グランドアーク半蔵門（東京都千代田区）
- ・後援：厚生労働省、一般社団法人日本社会福祉学会、一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟、日本地域福祉学会、日本社会福祉系学会連合
- ・プログラム

#### 第1部：受賞記念講演会

受賞著書 : 『ソーシャルワークにおける「価値」と「原理」  
－「実践の科学化」とその論理構造－』

受賞者（発表者） : 衣笠 一茂 氏（大分大学福祉健康科学部 学部長 教授）

#### 第2部：シンポジウム

テ ー マ : 「ソーシャルワークと子どもの最善の利益」

コーディネーター : 芝野 松次郎 氏（関西学院大学教授）

パネリスト : 伊藤 嘉余子 氏（大阪府立大学教授）

畠山 由佳子 氏（神戸女子短期大学准教授）

コメンテーター : 衣笠 一茂 氏（大分大学 学部長教授）

#### <2>叢書

上記の講演会とシンポジウムの内容を財団叢書No. 92「第18回損保ジャパン日本興亜福祉財団賞受賞者記念講演録」として2018年4月公表の予定です。（ホームページに掲載）

#### <3>2017年度「損保ジャパン日本興亜福祉財団賞」の実施

2017年度の損保ジャパン日本興亜福祉財団賞には、指定推薦者から25件22編が推薦されました。審査委員会は2017年9月5日、11月4日、12月17日の3回にわたり、当財団会議室にて開催されました。

審査委員会において厳正な審査の結果、以下記載の著書1編が授賞に相応しい候補文献として選定され、2018年1月19日の理事会で決定されました。

- ・受賞著書：『福祉政治史－格差に抗するデモクラシー－』（勁草書房 2017年2月発行）
- ・受賞者：田中 拓道 氏（所属 一橋大学大学院社会学研究科教授）
- ・表彰内容：賞状 記念品 研究・出版助成金 100万円

贈呈式を、2018年3月1日に損害保険ジャパン日本興亜本社ビル43階で開催しました。また、受賞著書の出版社である勁草書房と、推薦者である水島治郎氏（千葉大学法政経済学部教授）に対し、感謝状及び記念品を贈呈しました。

なお、第19回損保ジャパン日本興亜福祉財団賞受賞記念講演会・シンポジウムは、2018年7月7日（土）にグランドアーク半蔵門での開催を予定しています。

#### <4>2017年度「損保ジャパン日本興亜福祉財団奨励賞」の実施

損保ジャパン日本興亜福祉財団賞の審査過程で、財団賞には及ばないものの優れた著作（佳作）であると評価された特に若手の著者を対象に、2017年度の損保ジャパン日本興亜福祉財団奨励賞を贈呈しました。

2018年1月19日の審査委員会において、安藤藍氏および桜井啓太氏の両氏の著書各1編が授賞に相応しい候補文献として選定され、2018年1月19日の理事会で決定されました。

- ①・受賞著書：『里親であることの葛藤と対処－家族的文脈と福祉的文脈の交錯－』  
(ミネルヴァ書房 2017年2月発行)

- ・受賞者：安藤 藍 氏  
(所属 首都大学東京都市教養学部都市教養学科人文・社会系助教)
- ・表彰内容：賞状 記念品 研究・出版助成金 50万円

②・受賞著書：『〈自立支援〉の社会保障を問うー生活保護・最低賃金・ワーキングプアー』  
(法律文化社 2017年2月発行)

- ・受賞者：桜井 啓太 氏  
(所属 名古屋市立大学大学院人間文化研究科 講師、  
大阪市立大学人権問題研究センター 特別研究員)
- ・表彰内容：賞状 記念品 研究・出版助成金 50万円

#### 4. 資金運用状況

財団の基本財産については、資金運用規程に則り、投資有価証券の継続保有及び銀行預金で運用しました。なお、財団が保有している債券は基本財産で、全て満期保有を目的としています。

2017年度には以下の1件が満期償還を迎えました。マイナス金利導入(2016年2月)以降、満期を迎えた債券の償還金の一部は、決済用普通預金(無利息型普通預金)にて保有し、基本財産19億5,569万円の内、4億728万円が決済用普通預金(無利息型普通預金)としています。

満期償還債券	新規購入債券他
三重県 平成24年度第2回公債第4号 ・額 面：1億円 ・利 率：0.161% ・償還日：2018年3月30日	決済用普通預金(無利息型普通預金) 1億円

また、運用財産(基本財産以外の財産)は、安全性と流動性を考慮し銀行預金で運用しました。

#### 5. その他の特記事項

内閣府への届出等

2017年4月17日 変更の届出

(事業内容：40周年記念事業である住民参加型福祉活動資金助成の追加)

2017年6月28日 事業報告等の提出

2017年7月21日 変更の届出(理事の退任および評議員の退任、新任)

2017年10月1日 変更の届出(理事の退任、新任)

2018年1月15日 変更の届出(評議員の退任)

2018年3月12日 事業計画書等の提出

## 庶務の概要

### 1. 役員等に関する事項

役員等の氏名は次のとおり。(常勤者に<常勤>表示) (五十音順、2018年3月31日現在)

職名	氏名	摘要
理事長	二宮 雅也	損害保険ジャパン日本興亜株式会社代表取締役会長
専務理事	岡林 秀樹	<常勤>公益財団法人損保ジャパン日本興亜福祉財団
理事	秋山 弘子	東京大学 高齢社会総合研究機構特任教授
	大橋 謙策	公益財団法人テクノエイド協会理事長・東北福祉大学大学院教授
	小林 光俊	学校法人敬心学園理事長
	清水 勉	元日本興亜損害保険株式会社取締役専務執行役員
	冷水 豊	元上智大学教授
	竹内 孝仁	国際医療福祉大学大学院教授
	田中 滋	慶応義塾大学名誉教授
	長嶋 紀一	日本大学名誉教授
	長谷川 和夫	社会福祉法人浴風会認知症介護研究・研修東京センター名誉センター長
	花崎 和彦	<常勤>公益財団法人損保ジャパン日本興亜福祉財団
	古川 貞二郎	社会福祉法人恩賜財団母子愛育会会長・元内閣官房副長官
	森嶋 昭夫	名古屋大学名誉教授
	和田 正江	主婦連合会常任幹事
監事	小林 豊	公認会計士
	新里 智弘	公認会計士
評議員	青木 潔	損害保険ジャパン日本興亜株式会社執行役員広報部長兼CSR室長
	飯豊 豊	損害保険ジャパン日本興亜株式会社常務執行役員
	池田 輝彦	みずほ信託銀行株式会社顧問
	石田 満	法学博士 上智大学名誉教授
	石橋 みゆき	築根クリニック副院長
	江頭 憲治郎	東京大学名誉教授
	大島 雄次	明治安田生命保険相互会社名誉顧問
	大塚 義治	日本赤十字社副社長
	落合 誠一	東京大学名誉教授
	角川 与宇	元日本興亜損害保険株式会社代表取締役副社長執行役員
	京極 高宣	社会福祉法人浴風会理事長、国立社会保障・人口問題研究所名誉所長
	柴田 博	桜美林大学名誉教授・招聘教授
	清水 重夫	元株式会社資生堂代表取締役執行役員副社長
	杉崎 重光	ゴールドマン・サックス証券株式会社副会長
	炭谷 茂	社会福祉法人恩賜財団済生会理事長
	鳥居 泰彦	慶応義塾学事顧問(同元塾長)、一般財団法人交詢社理事長
	直井 道子	東京学芸大学名誉教授
	西浦 英次	元社団法人日本損害保険協会専務理事

職名	氏名	摘要
評議員	西崎 哲郎	東京国際コンサルティング株式会社社長
	橋本 和生	元日本興亜損害保険株式会社代表取締役副社長執行役員
	弘中 徹	弁護士法人弘中総合法律事務所代表社員・弁護士
	藤川 久昭	クラウンズ法律事務所代表弁護士・DeNA社外監査役
	前田 晃伸	みずほフィナンシャルグループ名誉顧問
	三好 次夫	元ユニバース開発株式会社代表取締役社長
	山下 友信	同志社大学教授
	涌井 洋治	公益財団法人アフィニス文化財団理事長

職名	氏名	摘要
選考委員 (社会福祉)	和田 敏明 青木 潔 安藤 雄太 大塚 晃 内藤 佳津雄 中島 謙次	ルーテル学院大学名誉教授 損害保険ジャパン日本興亜株式会社執行役員広報部長兼CSR室長 法政大学現代福祉学部兼任講師 上智大学総合人間科学部社会福祉学科教授 日本大学教授 社会福祉法人中央共同募金会常務理事
選考委員 (奨学金助成)	竹内 孝仁 青木 潔 上野谷加代子 冷水 豊 山口 保	国際医療福祉大学大学院教授 損害保険ジャパン日本興亜株式会社執行役員広報部長兼CSR室長 同志社大学教授 元上智大学教授 公益財団法人日本介護福祉士養成施設協会常務理事
選考委員 (福祉諸科学)	京極 高宣 高橋 紘士 広井 良典 本山 浩一 山下 友信	社会福祉法人浴風会理事長・国立社会保障人口問題研究所名誉所長 一般財団法人高齢者住宅財団理事長 京都大学教授 損保ジャパン日本興亜総合研究所株式会社取締役社長 同志社大学教授
選考委員 (ジェロントロジ ー研究)	長嶋 紀一 今井 幸充 上野谷加代子 冷水 豊 袖井 孝子 竹内 孝仁 内藤 佳津雄	日本大学名誉教授 医療法人社団翠会和光病院院長 同志社大学教授 元上智大学教授 お茶の水女子大学名誉教授 国際医療福祉大学大学院教授 日本大学教授
審査委員 (社会福祉 学術文献表彰)	岩田 正美 秋元 美世 岩崎 晋也 芝野 松次郎 菅沼 隆 水巻 中正 和気 純子	日本女子大学名誉教授 東洋大学社会学部社会福祉学科教授 法政大学現代福祉学部教授 関西学院大学人間福祉研究科教授 立教大学経済学部長 国際医療福祉大学大学院教授 首都大学東京大学院人文科学研究科教授



職名	氏名	摘要
顧問	右田 紀久恵	大阪府立大学名誉教授
	岡本 民夫	同志社大学名誉教授
	黒田 研二	関西大学教授
	小林 良二	東京都立大学名誉教授
	白澤 政和	桜美林大学大学院教授
	高野 茂	損保ジャパン日本興亜社友会常任幹事兼事務長
	高宮 洋一	城西国際大学教授
	田中 皓	公益財団法人助成財団センター代表理事・専務理事
	田端 光美	日本女子大学名誉教授
	福山 和女	ルーテル学院大学名誉教授・社会福祉学博士
	古川 孝順	長野大学特任教授
	宮武 剛	一般財団法人日本リハビリテーション振興会理事長

## 2. 職員等に関する事項

従業員は次のとおり。

(2018年3月31日現在)

区分	氏名	就業年月日	備考
課長	村上 歌奈子	2017年 4月 1日	損害保険ジャパン日本興亜(株)より出向
主任	渡部 由里	2008年 9月 1日	
主事	尾根 桂子	2013年 8月 1日	

### 3. 役員会等に関する事項

#### (1) 理事会の開催

開催日	会議事項	結果
2017年5月29日 2017年度 第1回通常理事会 (定款第43条に定める理事会の決議の省略の方法による)	第1号議案 2016年度の事業報告及び決算承認の件(決議) 第2号議案 選考委員(社会福祉事業)の選任の件(決議) 第3号議案 選考委員(奨学金助成事業)の選任の件(決議) 第4号議案 定時評議員会開催の件(決議)	決議に参加できる理事全員の同意が得られ、かつ監事の承認が得られた
2017年6月21日 2017年度 第1回臨時理事会	第1号議案 理事長、専務理事の職務執行状況の件(報告) 第2号議案 理事の利益相反取引の件(報告) 第3号議案 理事の退任の件(報告) 第4号議案 顧問の選任の件(決議) 第5号議案 事務局長の選任の件(決議)	全員了承 全員了承 全員了承 全員一致で承認可決 全員一致で承認可決
2017年9月4日 2017年度 第2回臨時理事会 (定款第43条に定める理事会の決議の省略の方法による)	第1号議案 評議員会に提案する理事候補者の件(決議) 第2号議案 役員報酬の件(決議)	決議に参加できる理事全員の同意が得られ、かつ監事の承認が得られた
2018年1月19日 2017年度 第3回臨時理事会 (定款第43条に定める理事会の決議の省略の方法による)	第1号議案 2017年度「損保ジャパン日本興亜福祉財団賞」ならびに「損保ジャパン日本興亜福祉財団奨励賞」選考の件(決議)	決議に参加できる理事全員の同意が得られ、かつ監事の承認が得られた
2018年3月1日 2017年度 第2回通常理事会	第1号議案 2017年度の事業経過報告の件(報告) 第2号議案 理事長・専務理事の職務執行状況の件(報告) 第3号議案 2018年度の事業計画及び収支予算等の件(決議) 第4号議案 評議員の退任の件(報告) 第5号議案 規程の改定の件(報告)	全員了承 全員了承 全員一致で承認可決 全員了承 全員了承

(2) 評議員会の開催

開催日	会議事項	結果
2017年6月21日 定時評議員会	第1号議案 2016年度事業報告の件（報告） 第2号議案 2016年度決算承認の件（決議） 第3号議案 2017年度の事業計画及び収支予算等の件（報告） 第4号議案 評議員の退任の件（報告） 第5号議案 評議員の選任の件（決議） 第6号議案 理事の退任の件（報告） 第7号議案 選考委員の選任の件（報告） 第8号議案 審査委員の選任の件（報告） 第9号議案 顧問の選任の件（報告） 第10号議案 事務局長の選任の件（報告）	全員了承 全員一致で承認可決 全員了承 全員了承 全員一致で承認可決 全員了承 全員了承 全員了承 全員了承 全員了承
2017年9月20日 第1回臨時評議員会 (定款第25条に定める理事会の決議の省略の方法による)	第1号議案 理事の選任の件（決議）	決議に参加できる評議員全員の同意が得られた

(3) 選考委員会・審査委員会の開催

開催日	委員会の内容
2017年5月17日	奨学金助成事業選考委員会 2017年度奨学生の選考（10名の支給決定）
2017年9月5日	第1回社会福祉学術文献表彰事業「損保ジャパン日本興亜福祉財団賞」ならびに「損保ジャパン日本興亜福祉財団奨励賞」審査委員会（第1次審査）
2017年9月14日	第1回社会福祉事業選考委員会 ①「自動車購入費」助成の選考（10件の助成決定） ②研修会資金助成の選考（23件の助成決定） ③会議会合・国際交流費等助成の選考（1件の助成決定）
2017年11月4日	第2回社会福祉学術文献表彰事業「損保ジャパン日本興亜福祉財団賞」ならびに「損保ジャパン日本興亜福祉財団奨励賞」審査委員会（第2次審査）

開催日	委員会の内容
2017年12月12日	第2回社会福祉事業選考委員会 (1)「NPO基盤強化資金」助成の選考 ①住民参加型活動資金助成(20件の助成決定) ②「組織の強化」と「事業活動の強化」の助成(21件の助成決定) ③認定NPO法人取得資金の助成(20件の助成決定) (2)海外助成の選考(6件の助成決定) (3)会議会合・国際交流費等助成の選考(1件の助成決定)
2017年12月17日	第3回社会福祉学術文献表彰事業「損保ジャパン日本興亜福祉財団賞」ならびに「損保ジャパン日本興亜福祉財団奨励賞」審査委員会(推薦文献 財団賞1件、奨励賞2件の決定)
2018年3月16日	第3回社会福祉事業選考委員会 在宅で高齢者を介護する家族の交流及び研修資金助成の選考 (1件の助成決定)

#### 4. 許可、認可および承認に関する事項

該当はありません

#### 5. 寄付金に関する事項

損害保険ジャパン日本興亜株式会社より88,000,000円の寄付を受けました。

このほか法人22件2,350,000円、損保ジャパン日本興亜職員団体4,000,000円、個人2,097,000円の寄付を受けた結果、本年度の寄付金の合計は、96,447,000円となりました。

寄付者名	寄付金額 (千円)
損害保険ジャパン日本興亜株式会社	88,000
SOMPO企業保険金サポート株式会社	100
SOMPOLリスクアマネジメント株式会社	200
損保ジャパン日本興亜総合研究所株式会社	100
SOMPOビジネスサービス株式会社	70
SOMPOシステムズ株式会社	100
SOMPOシステムイノベーションズ株式会社	100
SOMPOビルマネジメント株式会社	100
損保ジャパン日本興亜アセットマネジメント株式会社	100
株式会社インシュアランスマネジメントサービス	100
株式会社プライムアシスタンス	100
SOMPOコミュニケーション株式会社	100

寄 付 者 名	寄付金額 (千円)
損保ジャパン日本興亜保険サービス株式会社	100
損保ジャパン日本興亜キャリアビューロー株式会社	50
損保ジャパン日本興亜ひまわり生命保険株式会社	100
日宝株式会社	30
そんぽ24損害保険株式会社	100
SOMPOキャリアスタッフ株式会社	100
SOMPOクレジット株式会社	100
SOMPOワランティ株式会社	200
個人(法人匿名3社を含む)	6,497
寄付金合計	96,447

#### 6. 行政庁指示に関する事項

該当はありません。

#### 7. その他の重要事項

該当はありません。

2017年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しておりません。